

## NPO 法人大雪山自然学校の活動

### ①環境保全事業

#### ・旭岳自然保護対策事業（東川町大雪山国立公園保護協会委託業務）

5月15日から11月15日の184日間で、延べ760人のスタッフと延べ188人のボランティアが活動した。それによって約30箇所の登山道整備を実施できた。（3日1箇所）

ロープウェイ山頂駅で4800回(32回/1日×150日)のレクチャーを実施した。

情報発信については、東川町役場の外国人スタッフの協力を得ながら6月7日～10月25日の21週間にわたり毎週旭岳ネイチャーレターを6か国語（韓国語、中国語、タイ語、台湾語、英語、ロシア語）で発行した。ブログを毎日(158回)更新した。

旭岳ロープウェイ姿見駅舎内に協力金箱を設置し管理及び金額の集計を行った。

	2013年	2014年	2015年	2016年
6月	215,717	211,836	148,001	102,246
7月	391,486	227,598	253,002	238,263
8月	383,947	351,838	188,623	204,265
9月	416,541	439,508	285,511	239,563
10月	297,717	179,425	107,362	92,963
計	1,705,408	1,610,205	982,499	877,300

希望する利用者に対し長靴の貸出しを行った。

	2014年		2015年		2016年	
	足数	売上	足数	売上	足数	売上
6月	2,244	448,800	1,727	518,100	2,014	604,200
7月	291	58,200	706	211,800	319	95,700
8月	420	84,000	250	75,000	169	50,700
9月	753	150,600	688	206,400	337	101,100
10月	1,228	245,600	1,843	552,900	1,243	372,900
合計	4,936	987,200	5,214	1,564,200	4,082	1,224,600

高山植物の開花調査の実施。

姿見園地内に11箇所調査ポイントを設定し、雪解けから開花までの日数の計測及び画像を記録した。日毎の天候（午前・午後）と平均気温（日3回計測）も合わせて記録した。

2016年、2014年、2013年と3年分のデータが揃ったので来年はこの情報を基に、開花予報を出すことを考えている。 ※2015年は雪解けが早く観測できなかった。

外国人インターンの受入れ。

今年度はフランス人大学生1名を、5月下旬から8月上旬まで受け入れた。

英語、フランス語、ドイツ語での対応が可能。外国人客に対し、国立公園マナーや登山道の状況説明を行った。

研修の実施。

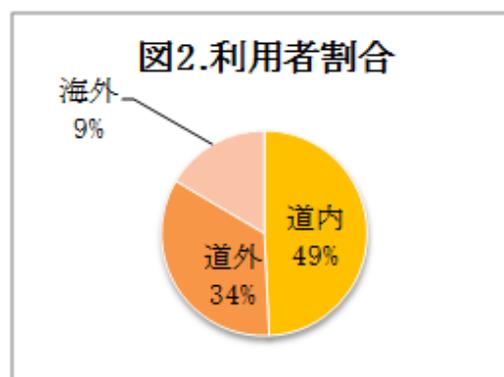
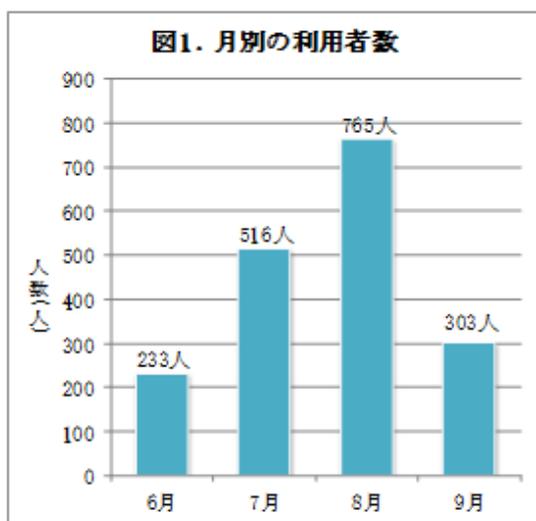
旭岳自然保護対策事業が始まるにあたり、大雪消防組合東消防署で上級救命講習を受講した。他の団体にも声かけを行い、25名が参加した。事故・遭難が発生した時は消防を含む関係機関と連携しスムーズな対応ができた。

#### ・東川町青少年野営場管理業務（東川町委託業務）

6月1日から9月30日までの113日間で1,817人が利用した。

受付、利用説明、レンタル対応、清掃、場内の草刈りを行った。

過去の利用者数は、2013年度が1,192人、2014年度が1,459人、2015年度が1,668人。



#### ・野生動物との共生推進事業（東川町委託業務）

春から夏にかけて3回、エキノコックスの虫下し入りの餌を東川町内全域に散布した。

全ての舗装道路に100m毎に餌を撒いた。2014年度の調査では、エキノコックスを保有するキタキツネの数は50%から25%に減少した。

### ②エコツアー事業

・旅行エージェントから依頼を受け、姿見の池園地一周ツアーを実施した。6月下旬から10月上旬まで、催行本数59本、参加人数423名であった。

・旭川道新文化センター自然講座「高山植物ウォッチング」を旭岳エリアで実施した。

旭川に住む参加者が旭岳に3回通う連続講座で、季節毎に植物・自然現象を学んだ。各回20名ほどが参加した。

### ③子どもの環境教育事業

東川町教育委員会、旭岳ロープウェイ、東川エコツーリズム推進協議会、(有)アグリテックなどとの協働事業である「水育」プログラムを姿見や忠別ダムで3回実施した。対象は地元の幼稚園児と小学生とした。